

元気なまち藤枝

平成23年度
当初予算・組織改正(案)の概要



平成23年2月14日

基本理念

「元気なまち藤枝」づくり

第5次藤枝市総合計画

「ふじえだ2020グランドデザイン スマイルプラン」

元気共奏・飛躍ふじえだ

～元気つながる、笑顔ひろがる～

「元気なまち藤枝」づくり

基本方針

- 子どもたちが輝くまち
- 誰もが安心して暮らせるまち
- 皆で協力し合うまち
- 誇りと元気のあるまち

平成23年度重点施策

市民が「やさしさ」、「明るさ」を実感できる施策の実施

- (1) 「4つのK」(健康、教育、環境、危機管理)の推進
- (2) 焼津市をはじめとした志太榛原地域、静岡市との広域連携の推進
- (3) 富士山静岡空港を活かした交流人口の拡大

※すべての施策において「元気」を実感できる取り組みを行う

「元気なまち藤枝」づくり

平成23年度の重点戦略①

☆元気創造プロジェクト

- 人が元気なまちづくり【健康】
- 学びを通じた元気なまちづくり【教育】
- 環境を軸とした元気なまちづくり【環境】
- 活気に満ちた元気なまちづくり
- 地域産業が元気なまちづくり
- 協働で元気なまちづくり【広域連携】

平成23年度の重点戦略②

☆子ども未来応援プロジェクト

- 少子化対策、子育て環境の整備

☆集客・交流増大プロジェクト【交流増大】

- シティプロモーション、国内・国外交流促進づくり

☆市民安全プロジェクト

- 危機を克服する元気体制づくり【危機管理】

- 交通安全

☆その他のプロジェクト

☆ゼロ予算プロジェクト

日本一元気なまちを目指します！

☆健康・予防 日本一

市民一人ひとりが心身ともに健やかで充実した人生を送れるよう地域全体で支え合う元気あふれるまちづくり

☆教育 日本一

次代を担う人間力(確かな学力、豊かな心、健やかな体)を備えた人材育成に、学校・地域ぐるみで取り組むまちづくり

☆環境 日本一

“もったいない”の精神に基づき、市民誰もが環境問題に「気づき」「学び」そして「行動する」まちづくり

☆交通安全 日本一

誰もが安全で安心して生活できる、地域みんなで交通安全に取り組むまちづくり

1. 当初予算案の概要



「元気なまち藤枝」づくり

(1) 予算の規模

予算 Go! 皆ハッピー

435 3800

一般会計 435億 3,800万円

全会計

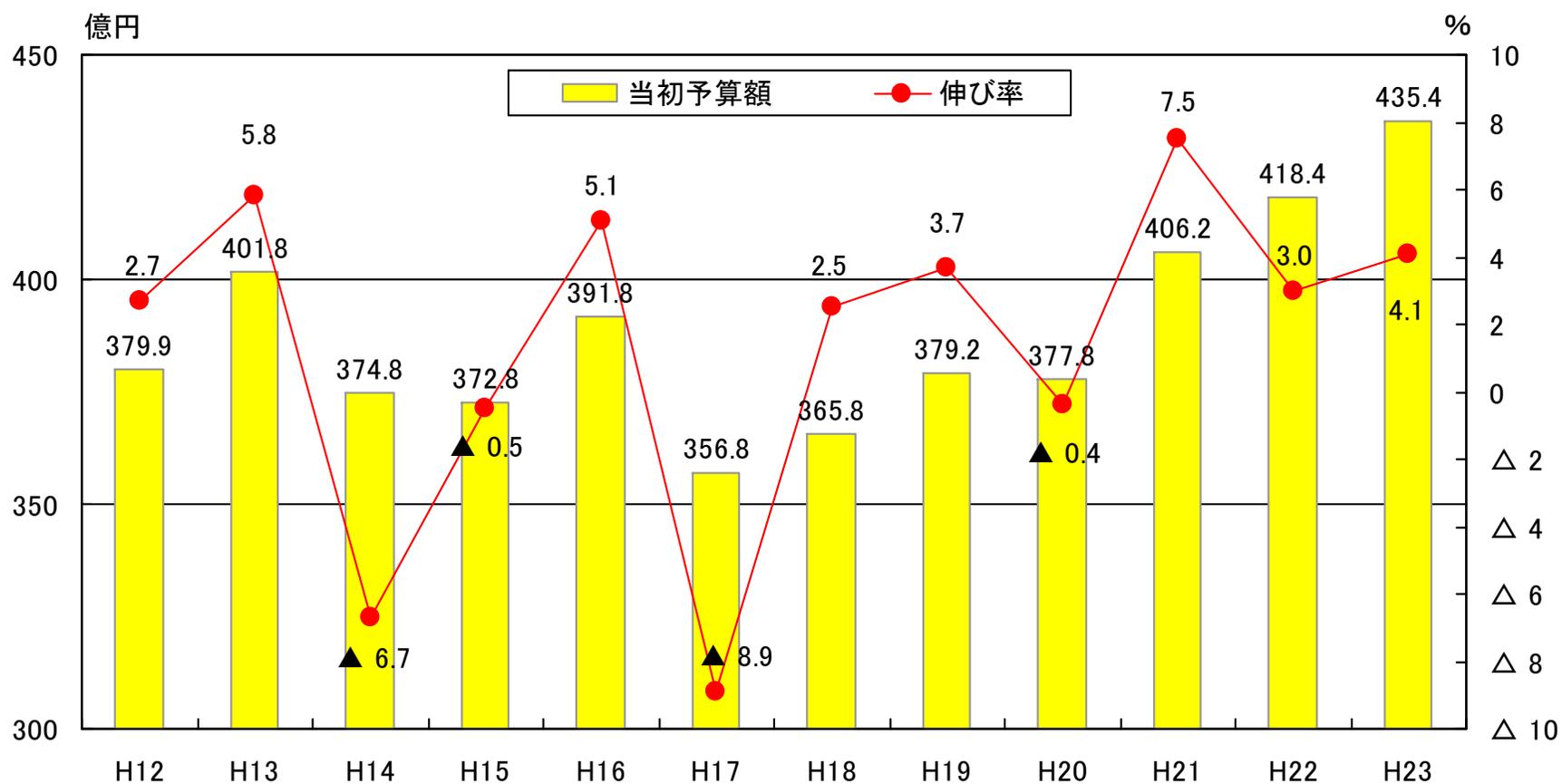
(単位:千円・%)

| 区 分 | H23当初 | H22当初 | 増 減 | 伸 率 |
|------|------------|------------|-------------|-------|
| 一般会計 | 43,538,000 | 41,838,000 | + 1,700,000 | + 4.1 |
| 特別会計 | 26,806,000 | 25,497,300 | + 1,308,700 | + 5.1 |
| 企業会計 | 18,856,000 | 18,633,000 | + 223,000 | + 1.2 |
| 合 計 | 89,200,000 | 85,968,300 | + 3,231,700 | + 3.8 |

※老人保健特別会計は平成22年度で廃止

(2) 一般会計予算額の推移

予算規模は過去最大 伸び率+4.1%



(3) 歳入の状況

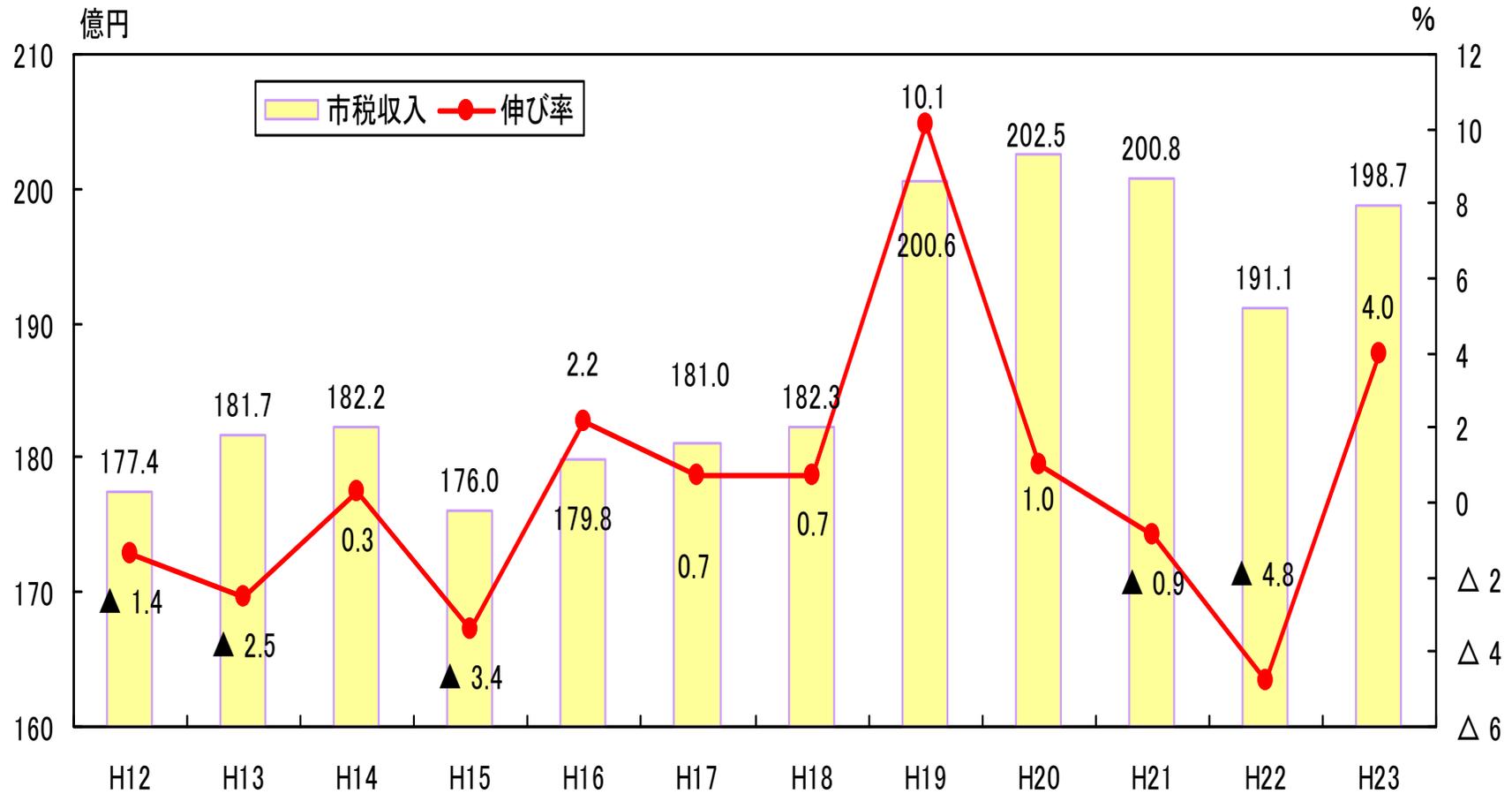
※ 増減は対前年度当初予算比較

| | | | |
|------------------------|---------------------------|-------------|---------|
| 市 税 | 198億7,045万円 | + 7億5,645万円 | + 4.0% |
| | 景気回復に伴う市民税の増 | | |
| 地方交付税 | 31億5,000万円 | + 1億5,000万円 | + 5.0% |
| | 地域活性化・雇用等対策費の増 | | |
| 臨時財政対策債 (実質的な地方交付税) | 22億 円 | ▲ 3億1,100万円 | ▲ 12.4% |
| | 臨時財政対策債振り替え分の減 | | |
| 利子割交付金等 各種交付金 | 17億2,610万円 | + 2,360万円 | + 1.4% |
| | 地方消費税交付金等の増 | | |
| 国庫支出金 | 45億5,425万円 | + 5億3,024万円 | + 13.2% |
| | 子ども手当負担金等の増 | | |
| 県支出金 | 28億6,364万円 | + 6億4,197万円 | + 28.9% |
| | 緊急雇用創出事業費補助金、企業立地促進補助金等の増 | | |
| 市 債 (臨時財政対策債除く) | 15億5,930万円 | ▲ 1億5,330万円 | ▲ 9.0% |
| | 公園、道路事業等の減、児童福祉施設整備事業の増 | | |
| その他 | 76億1,426万円 | + 6,204万円 | + 0.8% |
| | 貸付金元利収入の増 | | |

(4) 市税の推移①

※ 増減は対前年度当初予算比較

| | | | |
|------|-------------|-------------|--------|
| 市税合計 | 198億7,045万円 | + 7億5,645万円 | + 4.0% |
|------|-------------|-------------|--------|



※ H20以前は岡部町との合算

(4) 市税の推移②

※ 増減は対前年度当初予算比較

| | | | |
|-------|---------------|-------------|--------|
| 市税合計 | 198億7,045万円 | + 7億5,645万円 | + 4.0% |
| 個人市民税 | 72億9,300万円 | + 3億3,600万円 | + 4.8% |
| | 景気回復に伴う個人所得の増 | | |
| 法人市民税 | 14億5,150万円 | + 2億8,000万円 | +23.9% |
| | 景気回復による増 | | |
| 固定資産税 | 89億6,780万円 | + 1億6,590万円 | + 1.9% |
| | 家屋の新增築に伴う増等 | | |

(5) 国・県支出金の状況

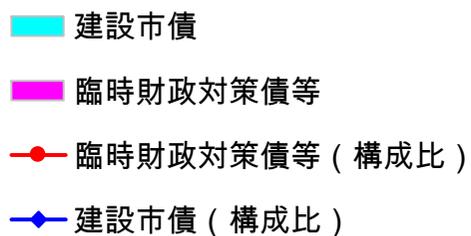
| | H 2 3 年度 | H 2 2 年度 | 増減 | 増減率 |
|-------|------------|------------|------------|--------|
| 国庫支出金 | 45億5,425万円 | 40億2,401万円 | 5億3,024万円 | +13.2% |
| 県支出金 | 28億6,364万円 | 22億2,167万円 | 6億4,197万円 | +28.9% |
| 合計 | 74億1,789万円 | 62億4,568万円 | 11億7,221万円 | +18.8% |

**国や県の補助金などの財源を
有効に活用して事業を充実させます**

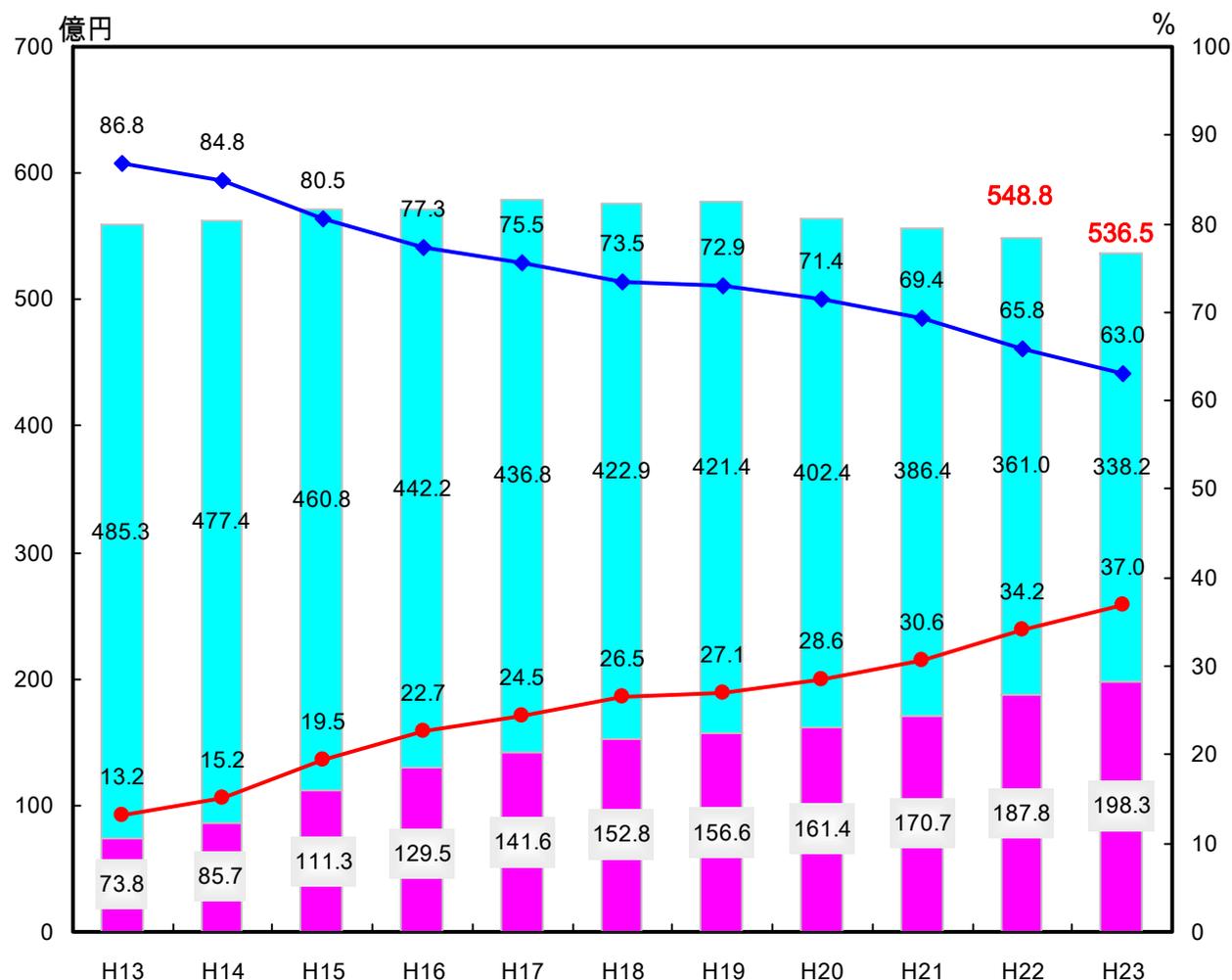
子ども手当、生活保護、緊急雇用創出事業、
企業立地促進事業費補助金、任意予防接種、
志太榛原救急医療センター充実経費等

(6) 市債残高

市債残高を
計画的に削減！



臨時財政対策債等
(実質的な地方交付税)
は増加



(7) 歳出の状況

※ 増減は対前年度当初予算比較

| | | | | |
|---------|------------|-------------|---------|----------------------------|
| 人件費 | 72億8,398万円 | + 8,205万円 | + 1.1% | 共済費及び退職手当の増、議員年金負担金の増 |
| 物件費 | 55億4,913万円 | + 5億 34万円 | + 9.9% | 緊急雇用創出事業・任意予防接種費の増 |
| 扶助費 | 76億3,269万円 | + 8億3,266万円 | + 12.2% | 子ども手当・障害者自立支援費・生活保護費の増 |
| 普通建設事業費 | 49億5,182万円 | + 1億 718万円 | + 2.2% | 児童福祉施設整備事業の増 |
| 投資及び出資金 | 8億2,230万円 | + 9,520万円 | + 13.1% | 病院事業会計出資金の増 |
| 繰出金 | 31億9,647万円 | + 2,371万円 | + 0.7% | 公共下水道事業繰出金の増、国民健康保険事業繰出金の減 |
| 公債費 | 59億9,577万円 | + 1億2,408万円 | + 2.1% | 元金償還金の増、利子償還金の減 |

(8) 人件費の状況(一般職)

給料・手当は減額、共済費は増額

(単位：千円・人)

| | | H23 | H22 | 増減 |
|------------|-------------|-----------|-----------|---------|
| 職員数(教育長含む) | | 796 | 801 | ▲5 |
| 退職者 | | 29 | 28 | +1 |
| 予算額 | 合計 | 7,130,150 | 7,114,076 | +16,074 |
| | 給料 | 3,234,712 | 3,266,681 | ▲31,969 |
| | 手当(退職手当を除く) | 1,901,977 | 1,964,847 | ▲62,870 |
| | 退職手当 | 820,000 | 760,000 | +60,000 |
| | 共済費 | 1,164,891 | 1,112,078 | +52,813 |
| | その他 | 8,570 | 10,470 | ▲1,900 |

※ 共済費増加の理由

平成22年9月から、給料に対する負担金率 $95.0875\% \rightarrow 97.3\%$ (+2.2125%)

期末・勤勉手当に対する負担金率 $76.07\% \rightarrow 77.84\%$ (+1.77%)

今後、平成21年から平成25年の各年9月に、給料に対し年2.2125%、期末・勤勉手当に対し年1.77%ずつ引き上げ

(9) 繰出金等の状況①

| 会計名 | 一般会計からの繰出金等 | 増減（H22比） | 増減率 |
|----------|-------------|-------------|---------|
| 国民健康保険事業 | 7億6,278万円 | ▲ 1億3,928万円 | ▲ 15.4% |
| 簡易水道事業 | 2,091万円 | ▲ 227万円 | ▲ 9.8% |
| 公共下水道事業 | 8億5,895万円 | + 7,129万円 | + 9.1% |
| 農業集落排水事業 | 7,254万円 | + 661万円 | + 10.0% |
| 介護保険 | 12億9,611万円 | + 5,155万円 | + 4.1% |
| 後期高齢者医療 | 1億8,518万円 | + 3,619万円 | + 24.3% |
| 病院事業 | 21億円 | + 1億8,940万円 | + 9.9% |
| 水道事業 | 257万円 | + 257万円 | 皆増 |

(9) 繰出金等の状況②

◆病院事業会計

◇重点事業

○産科の再開に伴い、小児科と連携のもと、周産期医療の充実を図る

○診療報酬単価のアップを図る

- ・ 総合入院医療体制加算の承認
- ・ 地域医療支援病院機能の維持

◇経常収益状況

(単位：千円)

| | H 2 3 | | | H 2 2 | 前年対比 |
|------|------------|------------|----------|------------|-----------|
| | 予算 | 中期経営計画 | 増減 | 予算 | 予算増減 |
| 収益合計 | 13,399,000 | 13,491,000 | ▲92,000 | 12,761,000 | + 638,000 |
| 費用合計 | 14,055,000 | 14,272,000 | ▲217,000 | 13,859,000 | + 196,000 |
| 当期損失 | 656,000 | 781,000 | ▲125,000 | 1,098,000 | ▲ 442,000 |

中期経営計画より改善

H22より大幅な改善

※ 収益的収支は、中期経営計画（改革プラン）に取り組む中で着実に改善している。

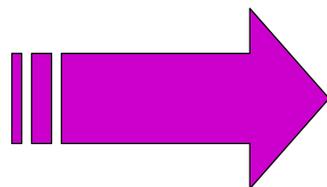
(10) 各種指標推計

健全化判断比率は確実に改善

(単位：%)

| 項目 | 21年度 (決算) | 22年度 (推計) | 23年度 (推計) | 対前年度比 |
|----------|--------------|--------------|--------------|-------|
| 実質公債費比率 | 14.4 | 14.1 | 14.0 | ▲ 0.1 |
| 将来負担比率 | 95.1 | 92.7 | 88.5 | ▲ 4.2 |
| 市債残高比率 | 207.7 | 202.9 | 198.4 | ▲ 4.5 |
| 経常収支比率 ※ | 86.5 | 86.0 | 89.4 | + 3.4 |

※ 歳出の物件費、扶助費の増等により、経常収支比率は上昇する見込み。



歳入一般財源(市税)の確保の推進

歳出(人件費・物件費)の管理の推進

2. 重点施策別主要事業・組織



「元気なまち藤枝」づくり

【1】元気創造プロジェクト

(1) 人が元気なまちづくり(健康)

1) 市民の健康促進

【組織】健康福祉部 健康推進課内に「健康企画室」を新設

市民が生きがいを持って心身ともに健康に暮らせる基盤づくりを推進

新) 健康・予防日本一推進事業

70万円

「元気ふじえだ健やかプラン」に基づき、健康・予防日本一を目指した
住民、地域、行政が連動した取り組み

拡) 食育の推進

【健康・予防日本一】

200万円

食育推進計画に基づいた事業の推進

食育フェスティバルを開催し、地産地消や食育を啓発

○母子保健事業

1億3,118万円

乳幼児健診・相談事業の実施

妊婦健診への支援、特定不妊治療費助成

【1】元気創造プロジェクト

(1) 人が元気なまちづくり(健康)

2) 市民の疾病予防

新】任意予防接種事業の充実

2億1,090万円

- ・ 子宮頸がん予防ワクチン接種
対象：中学1年生～高校1年生
- ・ ヒブワクチン接種
対象：2ヶ月～4歳

- ・ 小児肺炎球菌ワクチン接種
対象：2ヶ月～4歳
- ・ 肺炎球菌ワクチン接種助成
対象：70歳以上

○ 女性特有のがん検診事業

【健康・予防日本一】

1億6,930万円

子宮がん、乳がん検診

拡】こころの健康づくり事業

175万円

うつ病等による自殺対策の拡充
働き盛り世代の睡眠キャンペーン等の啓発
藤枝版受診紹介システムの円滑な運用

3) 地域医療の確保

拡】志太榛原地域救急医療センター事業

1億7,889万円

- ・ 診療時間：月～木 19:30～22:00
金～日 19:30～翌朝7:00
- ・ 待合室施設改修、医療機器整備

【1】元気創造プロジェクト

(1) 人が元気なまちづくり(健康)

3) 地域医療の確保

○市立総合病院の運営強化(組織の変更)

- ◆診療部長を複数制とし「統括診療部長」「第1～3診療部長」「救急診療部長」を設置
診療部において組織と責任の明確化を図る
- ◆地域医療連携センターにおいて、患者相談業務を独立させ「患者相談室」を設置
地域医療連携を推進するため退院指導を充実し、安心な医療の提供を図る
- ◆院長直属の「戦略的運営企画チーム」を立ち上げる
運営企画方針を戦略的に明確にし、組織横断的に展開し経営改革を推進する

【 拡】 病院への支援

21億円

市立総合病院負担金・出資金

- ・ 救急体制の確保
- ・ 医学生及び看護学生修学資金貸付 等

**市民の健康を守るため、
地域医療の確保に努めます！**



病院まつりの様子

【1】元気創造プロジェクト

(2) 学びを通じた元気なまちづくり(教育)

【組織】教育部内に「教育政策課」を設置し、課内に「教育推進室」を新設
教育日本一に向けた教育施策を立案・遂行

1) 小中学校教育内容の充実

拡) 小中学校接続英語教育プラン事業

一部緊急雇用

5,516万円

全中学校区単位でALTを配置(14人)

小学校活動時間数 年22→35時間

中学校ALT授業時間数 年13.6→35時間



ALTによる授業の様子

【目標】
中学卒業段階で
すべての生徒が
簡単な日常会話ができる!

【1】元気創造プロジェクト

(2) 学びを通じた元気なまちづくり(教育)

1) 小中学校教育内容の充実

新】 学力向上学校サポート事業 【教育日本一】 120万円
読解力向上に向け、教職員の研修会実施
校内研修に講師派遣

新】 小中学校連携ドリームプラン事業 【教育日本一】 400万円
中学校区単位で小中連携した教育活動を実施するための教育研究交付金

新】 子どもが安心して学べる学校づくり推進事業 【教育日本一】 70万円
いじめを許さない、思いやりあふれる学校づくりの推進
ピア・サポート研修会等の実施

2) 小中学校教育環境の充実

拡】 子どもと本をつなぐ学校図書館司書配置事業 【教育日本一】 1,133万円
全小中学校に学校図書司書を配置(14人)

【1】元気創造プロジェクト

(2) 学びを通じた元気なまちづくり(教育)

2) 小中学校教育環境の充実

拡】 学校生活支援員活用事業 【教育日本一】 **3,590万円**

全小中学校に生活支援員を配置

小中学校27人(14人から増員)、特別支援学級8人、通級指導教室2人

新】 学校マネジメント推進事業 **緊急雇用** 【教育日本一】 **1,395万円**

教師が授業に専念できる環境づくりのため、地域人材による支援体制の構築

新】 スーパーティーチャー活用事業 **緊急雇用** 【教育日本一】 **200万円**

授業力、指導力に定評があり、教職員からの信頼も厚い講師を雇用し、学校からの要請に応じ派遣指導をし、教職員の授業力向上を図る

新】 小中学校教育環境整備事業 **2,900万円**

全小中学校普通教室に扇風機設置

【1】元気創造プロジェクト

(3) 環境を軸とした元気なまちづくり

組織】環境水道部内に「環境政策課」を設置

環境日本一を目指し、生活環境課の政策部門を独立させ強化

組織】「新清掃工場対策室」を「クリーンセンター推進室」に改称

クリーンセンター整備に関連した地域課題について連絡調整機能を強化

1) ごみ減量推進（3Rの推進、廃棄物の適正処理）

新）家庭系生ごみ回収資源化事業

770万円

一般家庭から排出される生ごみの資源化を実施

生ごみを分別収集し、堆肥化のための一次処理を行なう。

平成23年度対象：モデル地区 800世帯

【1】元気創造プロジェクト

(3) 環境を軸とした元気なまちづくり

1) ごみ減量推進（3Rの推進、廃棄物の適正処理）

新】地域まるごと！みんなで頑張るごみ減量運動 【環境日本一】 20万円
ごみ減量の必要性と方法について、職員、民間普及啓発指導員による各町内会等での説明会開催（年間100回実施）

新】一般廃棄物処理基本計画策定事業 【環境日本一】 235万円
焼津市・志太広域事務組合と共同でごみ処理と生活廃水処理にかかる基本計画を策定

2) CO₂削減推進（省エネの推進、新エネの利用促進）

新】バイオマス利活用推進計画策定事業 【環境日本一】 300万円
本市の特性にあったバイオマス利活用の施策の方向性を明確にした計画策定
※国の動向に迅速な対応を行う

県内初の
満額助成！

新】中小企業エコ活動支援事業 【環境日本一】 160万円
エコアクション21の取得にかかる経費のうち認証登録料を補助

【1】元気創造プロジェクト

(3) 環境を軸とした元気なまちづくり

3) 3つの輪づくり

人づくり

新】エコマイスター制度

藤枝エコマイスター（指導者）の育成
目標：30人（平成27年度末）

【環境日本一】 【ゼロ予算】

場づくり

新】環境フェア開催事業

市民・事業所との協働により体験型イベントを開催し、もったいない運動を啓発
事業主体：藤枝市、もったいない運動推進委員会
実施時期：5月下旬予定

【環境日本一】 250万円

しくみづくり

○ 藤枝もったいない倶楽部の充実

個人、団体、企業による環境ネットワークを強化し、自発的行動の促進による
もったいない運動の全市的展開

【環境日本一】 【ゼロ予算】

【1】元気創造プロジェクト

(4) 活気に満ちた元気なまちづくり

組織】都市建設部内に「都市政策課」を設置
都市計画課と建設管理課の一部を再編
都市建設分野の将来的な課題に関する政策立案機能を強化

1) 市街地の活性化

○中心市街地活性化事業

8,560万円

駅前一丁目6街区：再開発準備組合への事業計画策定等支援

駅北口・日の出町地区：再開発のコーディネート、基本計画推進等

新】借上型公営住宅整備事業

4,956万円

借上型公営住宅3棟への建設費補助（高柳地内）

○青木中央公園整備事業

1億円

住民のコミュニケーションの場、憩いの空間の整備

多目的広場、トイレ整備等

【1】元気創造プロジェクト

(4) 活気に満ちた元気なまちづくり

2) 中山間地域の活性化

新) 花の回廊整備事業

100万円

特色ある花木植栽による景観整備、魅力発信、
ネットワークづくりによる誘客促進

新) グリーン・ツーリズム推進事業

210万円

農業体験イベント等を支援、活性化団体による田舎暮らし体験施設整備、
地域に滞在できる体制を確保し、援農やデュアルライフ推進を図る

拡) デュアルライフ推進事業

215万円

中山間地域への定住・移住促進事業

住宅改修費補助(2件)、空き家バンクの活用、啓発事業

岡部町殿の
コスモス畑

瀬戸谷の
菜の花



【1】元気創造プロジェクト

(4) 活気に満ちた元気なまちづくり

3) 文化の振興

○ **郷土博物館・文学館等管理運営事業** (一部緊急雇用) **7,123万円**

郷土博物館、文学館、志太郡衙資料館、史跡田中城下屋敷の直営化
特色ある企画展の実施、市民サポーターの協力による地域に根ざした
施設運営を目指す

新】文化芸術活動報奨金 **50万円**

全国高等学校総合文化祭出場者等への報奨金制度の創設

新】文化の宝箱事業 **54万円**

市内在住の音楽家、芸術家等を小中学校へ派遣、体験教室・コンサートを開催

○ **岡部宿内野本陣整備事業** **1,130万円**

H23：実施設計業務、建物解体工事

整備期間：H24～H27（柏屋改修含む）

新】市民会館リニューアル事業 **3,000万円**

H23：基本・実施設計、H24～H25：耐震工事、改修工事

H25.10月：リニューアルオープン

※耐震化により安全性を高めると共に、老朽化した設備を改修し利用者の利便性を高める

【1】元気創造プロジェクト

(4) 活気に満ちた元気なまちづくり

4) スポーツの振興

○ サッカーのまちドリームプランの推進

939万円

市民がサッカーに親しむ機会を創出するとともに、元祖サッカーのまち藤枝を全国に発信します

- ・ 全国PK選手権大会などの各種大会開催支援
- ・ 「夢の教室」を全小学校で開催
- ・ 「サッカーのまち藤枝」歴史資料の編さん、製本 など

新) 総合運動公園内 野球場整備事業

800万円

H23：実施設計、測量、土質調査

整備期間：H24～H26

新) アジアマスターズライフル射撃大会開催

30万円

国際大会の開催

○ スポーツ&健康フェスタ開催

40万円

誰もがスポーツを楽しめるきっかけとなるイベントを開催



全国PK選手権大会

【1】元気創造プロジェクト

(4) 活気に満ちた元気なまちづくり

5) 岡部地区のにぎわい創出

新】 藤枝フレッシュ・ミュージック・フェスティバル事業 **303万円**
玉露の里を会場に県内出身の若手アーティストによる野外音楽祭を開催、FM放送を活用した藤枝スイーツ、お茶、地酒情報の発信、地場製品の販売等

新】 岡部支所ミニギャラリー活用事業 **330万円**
支所の会議室をミニギャラリーとして活用
「水木しげるの妖怪道五十三次展」を開催

○ **東海道藤枝宿・岡部宿いきいきまつり、街道文化まつり** **790万円**
東海道の岡部宿・藤枝宿の周辺で芸術作品の展示やウォーキングの実施、東海道宿場にちなんだイベント、地元商店街、商工会議所等と連携し、物産市等の事業を展開（同時期に開催）



H22 街道文化まつりの様子

【1】元気創造プロジェクト

(5) 地域産業が元気なまちづくり

【組織】産業振興部内に「産業政策課」を設置。課内に「企業立地専門監」を配置
市内の産業への一層の支援や、農商工連携・6次産業化の推進など新たな
産業振興に対応するとともに、企業誘致にさらに積極的に取り組む

拡) 農商工連携・6次産業化等推進事業

410万円

関係機関や生産者・企業によるネットワークを設立し、積極的な支援を実施

I 交流・連携推進事業（セミナー・交流会等）

II スタートアップ支援事業（専門家派遣、新商品開発補助、販路開拓補助等）

III ランクアップ支援事業（事業展開の拡大支援）

新) エコノミックガーデニング推進事業

150万円

地元企業の成長を支援するための戦略的な取組

本市に合った手法の研究、 地元企業・製品紹介冊子作成、

図書館ビジネス支援コーナー設置、専門機関・金融機関と連携した支援等

※エコノミックガーデニング…地元企業が成長するための環境整備

【1】元気創造プロジェクト

(5) 地域産業が元気なまちづくり

1) 農商工連携の本格的な推進

新] フードスマイル推進事業

220万円

本市の食資源を活かし、生産者や企業・大学等が連携した「食」のまちづくりへの取組
食イベント（仮称フードスマイルフェスティバル）の実施（10月）

○ 薬用農作物栽培振興事業

30万円

薬用農作物（ミシマサイコ）の栽培振興の支援

- ・ 生産者の技術向上、土壌改良等の支援、栽培面積の拡大



ミシマサイコ収穫の様子



根の部分が
生薬の原料

【1】元気創造プロジェクト

(5) 地域産業が元気なまちづくり

2) 商工業の振興

新】開業チャンス応援事業

400万円

新たな創業者を育成し、藤枝市における開業を促進する

- ・開業チャレンジャー応援セミナー（入門編・初級編A・初級編B）、相談会
- ・空き店舗への開業支援（商店街エリアに加え、指定商業地を対象に追加）

新】買い物しやすい商業環境づくり事業 **緊急雇用**

160万円

高齢者世帯等の買い物の利便性を高め、買い物弱者をつくらない商業環境づくり

アンケート調査・取組事業者の把握・取組サービス紹介パンフレット作成等

○ 企業立地促進事業

3億9,500万円

- ・企業立地促進事業費補助金（市内移転企業2社）
- ・設備投資等奨励補助金（対象企業1社）

【1】元気創造プロジェクト

(5) 地域産業が元気なまちづくり

3) 農林業の振興

イノシシなどによる農産物の
被害軽減対策

拡】有害鳥獣対策事業（地域農業振興事業基金活用） 1,010万円

鳥獣捕獲報奨制度の新設（例：イノシシ捕獲1万円/頭）
防護柵・捕獲設備等の支援の拡充

新】子どもお茶博士の養成（地域農業振興事業基金活用） 50万円

お茶の消費拡大の一環

小学生を対象に日本茶インストラクター協会講師等による講座の実施

対象：お茶の淹れ方教室（学校で実施）の受講者（小学3、4、5年生）100人

拡】茶振興対策事業（地域農業振興事業基金活用） 4,300万円

現状の課題を踏まえ、産地の再構築を図るための事業

- ・茶園調査・測量業務
- ・生産基盤の整備等に対する支援

○ **竹林対策事業**（地域農業振興事業基金活用） 670万円

放置竹林の伐採事業に対する補助、若竹狩りイベントへの支援

○ **農林業基盤整備事業** 1億 590万円

県単土地改良事業5カ所、水門改良2カ所、林道改良事業2路線など

【1】元気創造プロジェクト

(6) 協働で元気なまちづくり

組織】新設部として「市長公室」を設置

総務部から行政経営課、秘書課、広報課を移管

藤枝型NPM及び戦略的広報を推進

市長マニフェストの確実な実現

1) 市民参画の推進

組織】「地区行政センター」を市民協働課の直轄組織とする

各センターに主幹級のセンター長を配置

本庁機能の一部をセンター長に権限移譲

新) 男女いきいき社会推進事業

50万円

官民交流事業(行政と企業の人事担当者による実践研修会の開催)

パパママ講座(父親の子育て参加を支援、ワーク・ライフ・バランスの推進)

拡) 市民参加推進事業

160万円

まちづくり総合事業費補助金 活動拡大(ジャンプアップ)支援を創設

アダプトプログラム拡大推進委員会の創設

【1】元気創造プロジェクト

(6) 協働で元気なまちづくり

1) 市民参画の推進

新】 住民参加型市場公募地方債の発行

20万円

市立総合病院の医療機器整備のために発行

市民の皆さんと行政が一体となって病院を支援する機会を創出する

※20万円は発行に際してのPR経費



病院まつりの様子

【1】元気創造プロジェクト

(6) 協働で元気なまちづくり

2) 広域連携の推進

【組織】企画財政部内に「広域連携室」を設置
焼津市をはじめとする広域連携の強化を図る

新) 消防救急広域化推進事業

140万円

平成25年度の運用開始に向け、志太2市広域消防推進協議会の開催
消防無線電波伝搬調査及びデジタル化基本設計負担金（県にて実施）

新) 広域連携事業

200万円

広域連携の強化、効果的・効率的なサービス提供
魅力的な地域づくりへの取り組み

新) 東名高速道路スマートIC新設事業

1,200万円

焼津市と連携して仮称大井川藤枝スマートIC整備への取り組み

○ 新東名ロングランプ関連事業

2億1,700万円

新東名ロングランプ周辺基盤整備

【2】子ども未来応援プロジェクト

(1) 少子化対策、子育て環境の整備

新) 藤枝おやこ館支援事業

540万円

市民団体と協調した子育て支援施設の運営
場 所：B i V i 藤枝 2階
開設時期：平成23年4月

新しいスタイルの
子育て支援事業を
支援します！

新) 中央児童相談所を誘致【県との連携】

藤枝市内に県の中央児童相談所（現在静岡市）を誘致し、
子育て支援体制を強化

○ 子ども手当（支給事務費含む）

31億1,400万円

対 象：中学校修了まで

支給額：3歳未満 20,000円、3歳以上 13,000円

人 数：221,000延人（対象者数18,417人）

新) あかちゃん駅設置推進事業

100万円

安心して外出できる環境づくり

民間施設の赤ちゃん駅設置への助成（1カ所10万円上限）

【2】子ども未来応援プロジェクト

(1) 少子化対策、子育て環境の整備

【抜】放課後児童健全育成事業（施設整備）

3,433万円

青島小の入所児童増加見込みへの対応

施設増築、定員50人、H24.4月開所

新) 児童福祉複合施設整備事業

5億 176万円

保育所と知的障害児通園施設を統合した複合施設の整備補助

仮称城南保育園（H24 民営化予定）とあかしや学園（H21 民営化）の複合施設（建設予定地：城南）

定員：保育所 150人←120人（+30人）

通園施設 50人←40人（+10人）

※障害の有無に関わらず、かけがえのない一人の人として、ともに育ち合おうとする保育を目標とした環境づくり



複合施設完成予定図

【3】集客・交流増大プロジェクト

(1) シティプロモーション、国内・国外交流促進

1) シティプロモーション

新) 地域情報発信事業

緊急雇用

2,637万円

行政情報番組を制作しFM放送を通じ、藤枝市の旬な情報をリアルタイムに発信

2) 国際交流促進

新) 友好都市交流展開催事業

130万円

国内外の友好都市7都市の物産展等を開催
フードスマイル、食育フェアと共同開催

新) 国際観光交流推進事業

200万円

海外での観光PRイベントの出展、旅行エージェント訪問、商談会への参加を行い、
海外からの観光客誘客を促進

拡) 国際交流事業

800万円

国際交流推進員(2人)を活用し、市内在住の中国・韓国人を国際交流パートナー
として委嘱し、市の観光施策等への意見集約を図るとともに海外に藤枝市をPRする

【3】集客・交流増大プロジェクト

(1) シティプロモーション、国内・国外交流促進

3) 国内交流促進

新) 西高跡地周辺整備構想策定事業

500万円

蓮華寺池公園と西高跡地周辺を一体的に整備し、市内外からの来訪者の交流拠点として機能を高めることで、旧東海道沿線等への回遊性向上を図る基本構想を策定

新) 椿園整備事業

2,780万円

寄贈された1,400本の椿を活用し、玉露の里周辺に椿園を整備

拡) コンベンション等誘致促進事業

350万円

本市へのインバウンド拡大、経済活性化等を図るための宿泊費用に対する助成

コンベンション開催・スポーツ、教養文化活動合宿

助成額：1,000円/泊、上限50万円（コンベンション）・30万円（合宿）

新) 藤枝フレッシュ・ミュージック・フェスティバル事業

再掲

303万円

○ 東海道藤枝宿・岡部宿いきいきまつり、街道文化まつり

再掲

790万円

【4】市民安全プロジェクト

(1) 危機を克服する元気体制づくり

組織】消防総務課内に「広域消防担当」を設置
焼津市との消防広域化協議の直接の窓口

1) 災害に強い体制づくり

新) 市民向けメール配信システム導入

187万円

希望者に対し携帯メールによる緊急情報や気象情報、自然災害情報を発信
災害時の市民、自治会役員、自主防災会役員、消防団員等への情報伝達強化
(イベント、行政情報、防犯、環境情報の配信も実施)
※H23年8月下旬 運用開始予定

新) 孤立予想地区衛星携帯電話配備

425万円

孤立予想集落全てに配備し、災害発生時の通信手段とする
H23年6月1日 配備完了予定

新) 災害時職員初動配備システム導入

170万円

災害発生時に職員の携帯メールを使い、迅速に初期の人員配備を行う
H23年9月1日 運用開始予定

【4】市民安全プロジェクト

(1) 危機を克服する元気体制づくり

○公共施設等の耐震補強

5億1,600万円

市民体育館（ランクⅡ・H23～H24） / 前島保育園北棟（ランクⅢ）
老人福祉センター藤美園（ランクⅡ）
消防団詰所4箇所（ランクⅢ） / 集会所4箇所（ランクⅢ）
市営駐車場（ランクⅢ）

小中学校については、
平成22年度2月補正対応にて、
すべてランクⅠに！



建替後の消防団詰所

【4】市民安全プロジェクト

(1) 危機を克服する元気体制づくり

2) 市民の安全を守る

○ 地域防犯活動推進事業 65万円

安全安心まちづくり活動への支援、
新規団体設立の支援（現在5団体→H23目標7団体）
啓発事業費 など

新】 まちかどAEDマップ作成事業 200万円

市内のAED設置場所を明記し、全戸配付

新】 建物アセットマネジメント事業 2,100万円

緊急雇用

公共施設の長期利活用のため設備台帳整備と適正な更新計画を策定

全市有建物（1,117棟）の設備台帳作成、主要一般施設（386棟）の更新計画策定

○ 橋梁長寿命化計画策定事業 1,100万円

市内の橋梁の長寿命化計画を策定するための詳細点検を実施

新】 公園施設長寿命化計画策定事業 1,000万円

都市公園施設（40箇所）の計画的な改善等を実施するための長寿命化計画を策定

H23年度～25年度で117箇所の都市公園を行う

【4】市民安全プロジェクト

(2) 交通安全施策の充実

新) 中学生・高校生の自転車マナーアップ事業 (緊急雇用) 1,058万円
中学校・高校の自転車通学校10校を対象に、交通指導員を配置(8人)
実施期間: 2、3学期

新) 交通安全セーフティパトロール事業【交通安全日本一】 (緊急雇用) 1,103万円
業務委託による青色回転灯車両での市内巡回パトロール及び広報を実施
※防犯パトロールを兼ねる

新) セーフティスクールゾーン運動【交通安全日本一】 【ゼロ予算】
各小中学校登校時間帯に通学路を中心に、市交通安全指導員と交通安全協会が連携し、
交通安全街頭指導を実施
実施時期: 1学期中

○ **交通安全施設等整備事業【交通安全日本一】** 2億2,360万円
通学路、交差点改良工事等とカーブミラーなどの交通安全施設等の整備

【5】その他のプロジェクト

1) 誰もが安心して暮らせるまちづくり

- **福祉施設整備事業費補助金** 2,000万円
知的障害者通所施設デイサービスセンターわかふじ増築
精神障害者通所施設げんきむらプリント工房増築
※利用者増加への対応

- 拡】 認知症ケア総合推進事業** 360万円
コーディネーター・サポーター養成

- 新】 ゆずりあい駐車場事業** 100万円
公共施設の駐車場に身体障害者等優先枠の設置及び啓発
設置場所：市役所、福祉センターきすみれ、保健センター等

- 新】 視覚障害者等情報支援緊急基盤整備事業** 43万円
SPコード（音声コード）普及啓発事業
通知文書等へのSPコードの添付

【5】その他のプロジェクト

2) 効率的な行政運営、収入の確保

新) インターネット等公売システムの活用 (滞納抑制効果事業) 380万円
インターネット等公売システムの活用により、税金を確保し滞納を抑制

新) 基幹業務システム再構築事業 1億1,500万円
基幹・内部系システムを最新の標準システムに入れ替え、業務改善・改革を進める

新) 口座振替強化推進事業 30万円
口座振替加入推進、市税等口座振替の再引き落としの実施により収納率を向上

【6】ゼロ予算プロジェクト

(1) 事業費ゼロで元気づくり

組織】窓口部門を中心に「接遇推進担当」を設置
接遇のレベルアップにより、市民満足度向上を図る

組織】「部内経理・調整担当」の配置
部内の複数課の経理事務を一元的に実施
効率的で適正な経理処理の徹底とダブルチェック体制を確立

新】セーフティスクールゾーン運動 【交通安全日本一】 再掲

各小中学校登校時間帯に通学路を中心に、市交通安全指導員と交通安全協会が連携し、交通安全街頭指導を実施

実施時期；1学期中

○ 小中学校 食育推進事業

栄養教諭及び学校栄養職員による小中学校における食育指導の実施

○ みんなが教え、みんなで学ぶ、生涯学習出前講座

職員が地域へ出向き、市の施策や市民に役立つ情報等をレクチャー

3. 本年度予算編成の取り組み



「元気なまち藤枝」づくり

(1) 部別包括予算制度の導入

経常経費等について全ての部局が、新規事業等を含め優先順位をつけて部局内で調整し、配当枠の範囲内で要求

目標達成!

対象経費：経常経費、維持補修費、普通建設事業費（市単独）の指定事業

| H22 一般財源額(A) | H23枠配当額 (一般財源) | H23要求額 (一般財源) (B) | 削減額 (A)－(B) |
|-----------------|-------------------|----------------------|----------------|
| 31億5,448万円 | 30億6,041万円 | 30億5,904万円 | 9,544万円 |

- 枠配当予算は原則として各部局が調整した要求を尊重
効率的な予算編成が行われ、**事業執行に向けて各部局のモチベーションもアップ!**
- 配当枠予算は平成22年度一般財源の97%を配当
捻出された9,500万円余を戦略事業の財源として活用!

(2) 全事業総点検の予算への反映

1) 総点検結果の概要

H22年度事業1,039件のうち

26事業の減 137事業新規 115事業廃止

| 区分 | 全事業 | | うち本数 | | | | | | |
|----|-------------|-------|------|-----|----|----|-----|-----|----|
| | | | 拡大 | 継続 | 縮小 | 統合 | 新規 | 廃止 | 完了 |
| 本数 | H23 | 1,013 | 40 | 736 | 28 | 72 | 137 | 115 | 76 |
| | H22 | 1,039 | | | | | | | |
| | H21 | 1,154 | | | | | | | |
| | 差引(H23-H21) | ▲ 141 | | | | | | | |

1,013件

【総点検シート活用】
事業の見直しや
整理統合による
財源確保に
最大限の努力

部別包括予算制
度による部局内
調整機能の強化

スクラップ&ビルド
による戦略的な
新規事業の展開

(3) 団体補助金の見直し

団体の運営費補助金を見直し、補助目的、補助対象経費を明確にした事業費補助金への移行を推進

平成22年度運営費補助団体(50団体)のうち、見直し対象45団体

| | 平成22年度 | | 平成23年度 | |
|--------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| 運営費補助 | 45 | 3億3,480万円 | 3 | 1,280万円 |
| 事業費補助 | — | — | 38 | 3億627万円 |
| 予算づけなし | — | — | 4 | — |
| 合計 | 45 | 3億3,480万円 | 45 | 3億1,907万円 |

※対象団体全てに対して見直しを実施

※運営費補助として残る3団体は、他市町とのルール等により、事業費補助への移行ができなかったもの

(4) 緊急雇用創出事業の取り組み

緊急雇用創出事業を積極的に活用し、雇用対策に取り組むとともに、財源を確保

事業数：40事業

雇用人数：151人

| 事業形態 | 事業数 | 事業費 | 雇用者数 |
|------|-----|-----------|------|
| 直接雇用 | 29 | 1億6,167万円 | 114人 |
| 委託 | 11 | 1億1,899万円 | 37人 |
| 合計 | 40 | 2億8,066万円 | 151人 |

◎主な事業(再掲)

- ・藤枝市地域情報発信事業費
 - ・建物アセットマネジメント事業
 - ・中学生・高校生の自転車マナーアップ事業
 - ・保育園・幼稚園特別支援事業
 - ・博物館資料整理事業
- 等

H22と比較し、
事業費 +2億5,591万円
事業数 +32事業
雇用人数 +134人

(5) 若手プロジェクトチーム提案の反映

☆市民が楽しむ未知（道）空間創造事業

800万円

瀬戸川左岸を市民の憩いの場としても利活用できるように環境整備を行う

H23 施工内容：舗装補修、道路区画線、
路面表示（歩行者・自転車マーク）



H22実施「瀬戸川こもれびの道」（社会実験）における
若手プロジェクトチームの検証結果を受け、
目的実現のためのハード整備を予算化

(6) ふるさと納税の有効活用

ふるさと納税を活用して 少年用サッカーゴールを全小学校に設置します

※H23 6校設置により、市内全小学校に設置完了
(H22 藤枝市サッカー協会、(株)スポーツプラザ報徳の寄贈により
7校に設置)



平成22年 ふるさと納税の実績

納税者数 10人
金額 141万円
(名波浩さんからの100万円を含む)



平成23年度の取り組み

ホームページ、スポーツイベント、
同窓会等に、本市の先駆的な
重点施策をPRしていく

目標：100人！



Fin